

国連大学へ

2年SG 課題研究に向けて初研修



☆ 旅程表 ☆

- 1 日目 国際連合大学にてレクチャーと国連大学ビルガイドツアー
宿舎のホテルにて研修
- 2 日目 プランインターナショナルJapan・JICA地球ひろば・
国連UNHCR協会の各コースに分かれたコース別研修

2年SGコースの生徒40名が、3月26日(月)~27日(火)、東京の国連大学を訪問し、4月から始まる課題研究に向けた研修を受けました。

初日、国連大学にて様々なレクチャーを受講、2日目はプランインターナショナルJapan・JICA地球ひろば・国連UNHCR協会に分かれて、グローバル課題について考える機会をもつことができました。今まで知らなかったことを、自分の目で見て、耳で聞いて知ることの楽しさを味わった2日間でした。

感想① 今日の講義を聴いて考え方が変わった。地球規模で課題を考えるとときに、先進国や発展途上国という枠組みは必要なく、もっと言えば国と国に境界を設けてそれぞれ考える必要もない。みんなが同じ「世界」に生きる一人の人間として、主体的に課題について真剣に考えることができる、良い意味での大きな視野を身につけることが必要だと感じた。

感想② 世界の人口の8割が発展途上国で生活しているという事実は衝撃的だった。私達が思っているよりも世界はまだまだ発展途上であると分かった。その中で先進国である日本は恵まれていると改めて知り、「恵まれている者の義務」があると強く感じた。私も将来何らかの形で世界に役立ちたいと思った。



「考え方が変わった」「世界はまだまだ発展途上」「私たちも行動を」



感想③ (国連 UNHCR 協会でワークショップ「いのちの持ち物けんさ」に参加して)「いのち」以外何も無くなったら、生きる意味を見失いそうだけど世界には実際にそのような人もいるのだということを忘れてはならないと思った。

感想④ 人任せにせず私たちも今のうちから真剣に考え、行動を起こさなければいけないと感じた。実際に世界で活躍している方々の体験を聞いて、様々な貢献の仕方があると知り、私たちにもそのチャンスはたくさんあると思った。

英語プレゼン講座

3年SG 成果発表会に向けて

英語プレゼン講座が6月11日(月)に本校iStudioで行われ、3年SGコースの生徒が、金沢大学の結成正美教授から英語によるプレゼンテーションの技法を学びました。

この講座は、英語で発表する成果発表会(7月13日)に向けた準備の一環として開かれました。生徒たちは課題研究の集大成となる発表会に向けて、熱心に授業に参加していました。

感想 スクリーンを見ないで聴き手を見ることや、重要点でのみジェスチャーを入れること、始めはゆっくり話し始めることなどは、日本語でのプレゼンでも忘れることが多いが、次は英語のプレゼンなのでより強く意識していきたい。

金沢大学の結成先生の講義の様子



京大思修館研修



院生からアドバイス 2年SG

2年SGコースの生徒たちは6月16日(土)、京都大学大学院総合生存学館(思修館)にて、課題研究の進め方についての研修を受けました。

思修館は、本校が目指す文理融合、異文化統合をよりハイレベルで実践をしている日本で注目の大学院です。

この研修は、SGコースの生徒が課題研究のテーマ設定や研究計画について大学院生から助言を得ることと、目指すべきロールモデルに触れ、リーダー・研究者としてのあり方を学ぶことを目的に毎年行われており、今年で3回目となりました。

今回の研修は、課題研究の各グループにそれぞれ院生が一人加わって行われました。生徒たちはリサーチクエスチョンや仮説の設定の仕方、今後の研究の進め方について学びました。生徒達にとって意識を高める機会となったようです。



「良い仮説は、良い研究」「視野広くなった」

感想① 「良い仮説は、良い研究」というのを聞き、今まで仮説を怠っていたけど、研究のプロセスをしっかりと立ててからしなければならぬのだと考え直しました。

感想③ 僕の班では、インド出身の院生が話をしてくださいました。インドでの電気の事情や、日本に来て変わった電気に対する感覚など、グローバルな点も言われていて、問題に対する視野が広くなりました。

感想② 研究においての大切なのは、本質的な選り取り、深さ・大胆さ、答えが出せることや先行研究の徹底調査だと学びました。

感想④ 院生の圧倒的な知識の量や、自分の経験と世界の問題の接点を探す高い意識に感銘を受けた。

北陸新幹線サミット in 長野

課題研究の成果 他県の生徒と共有 上田高校で合同発表会 3年生



長野県上田高校で6月16日(土)に開催された『北陸新幹線サミット』に3年生が参加しました。

このサミットは、新幹線沿線にあるSGH指定校の課題研究発表会・意見交換会を通して、関東北陸甲信越地域の高校生が切磋琢磨する機会を設けることを目的として開催されました。今回は3年SGコースの3グループ12名が参加し、それぞれ8分間のプレゼンテーションと7分間の質疑応答・ディスカッションを行いました。意識の高い全国の高校生と交流することで、たくさんの刺激を受けてきました。

感想① 私がディスカッションの中でとても心に残ったことは、世界の問題を当事者として捉えられないか考えることが大切だということと、解決策は持続可能なものであるべきだということです。私はSGHに入ってグローバル問題を身近に感じられるようにはなりましたが、当事者としての意識が薄かったように思います。世界の一体化が進む中、当事者でないことなどないと改めて気付かされました。また、目先の解決に捉われて解決策を考えないようにしようと思いました。

感想② 埼玉の高校生はインドネシアで森林保全活動をして、その経験を踏まえてプレゼンをしていましたし、なんと上田高校の生徒はカンボジアに井戸を作るプログラムを自ら企てたそうです。このように、機会が来るのを待つのではなく、「自分から行動する」という人が多くいました。私もそんな存在になりたいです。また、残り少ない課題研究の時間を、積極的に使い、内容を深化させられるよう有意義に使っていきたいと思いました。

1・2年生募集

～グローバルリーダー養成講座 第1弾～

Chat Time with Foreign Exchange Students (留学生との座談会)

東京外国語大学の外国人留学生4名と放課後に楽しくおしゃべりしませんか？ 留学生はシリア・ロシア・フランス・コロンビアの方で、3年SGコースの成果発表会が終わった後に、座談会に参加していただきます。英語・日本語を交えて、聞きたいことをいろいろ聞いてみましょう。

日時：7月13日(金)放課後 15:20～16:20 場所：iStudio(5階・理科講義室)
※申し込みは職員室の北川先生まで！ 締切7月10日(火) 定員40名程度